

周辺の見どころ

1 富山市ファミリーパーク

呉羽丘陵の里山に包まれた緑豊かな自然の中に、郷土および日本の動物を中心に数多くの動物たちが飼育展示されており、いきいきとした動物たちを間近に観て、ふれあうことができます。また、里山のみどころを巡る散策路や芝生広場、飲食コーナーなどもあり家族で1日ゆっくりと楽しむことができます。

- 住所／富山市古沢 254
- 電話／076-434-1234
- 時間／9：00～16：30（3月15日～11月30日）
10：00～15：30（12月1日～翌2月末日）
- 定休／3月1日～3月14日、12月28日～1月4日
- 問合せ／富山市ファミリーパーク



2 富山ガラス工房

『ガラスの街とやま』におけるガラス造形作家の活動拠点で、新しいガラス芸術の創造の場を気軽に見学することができます。館内では吹きガラスなどの制作体験ができるほか、県内外のガラス作家の作品や展示に触れることができるショップギャラリーやのんびりと休憩できるカフェも併設されています。

- 住所／富山市古沢 152
- 電話／076-436-2600
- 時間／9：00～17：00
- 定休／12月28日～1月4日
- 問合せ／富山ガラス工房



3 北代縄文広場

縄文時代中期（約4000年前）を中心に営まれた大集落跡『北代遺跡』を復元した広場。これまでに高床建物跡が4棟、竪穴住居跡が78棟確認されており、北陸地方を代表する貴重な集落跡として、国の史跡に指定されています。広場内には、展示室や縄文土器づくりなどの体験工房もあり、古代の暮らしや文化を体験することができます。

- 住所／富山市北代 3871-1
- 電話／076-436-3664
- 時間／9：00～17：00
- 定休／月曜、祝日の翌日（土日の場合は開館）
12月28日～1月4日
- 問合せ／北代縄文館



周辺の主な公園

1 呉羽丘陵多目的広場

明るく広々とした芝生の広場内には、ふわふわドームや大型ツリーハウス遊具、幼児遊び場など子どもの好奇心をくすぐる様々な遊具があり、小さなお子さんでものびのびと遊ぶことができます。広場の中央部には、呉羽丘陵の紹介と休憩所を兼ねたビジターセンターがあり、すぐそばを東西にはする園路はそのまま散策路へと繋がる「呉羽丘陵フットパス」の玄関口となっています。

- 電話／076-443-2111
- 時間／ビジターセンター開館時間 8：30～17：00
- 問合せ／富山市役所建設部公園緑地課



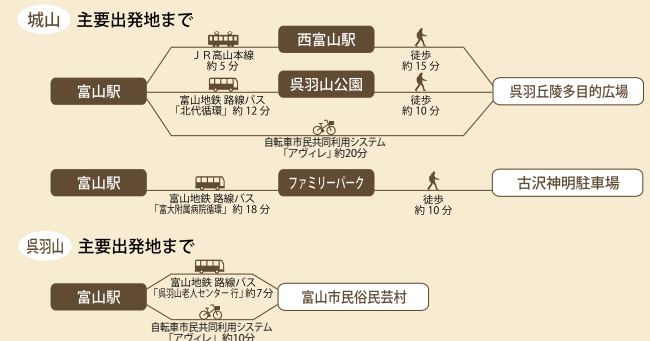
2 呉羽山公園（都市緑化植物園）

丘陵の地形や自然を生かしてつくられた緑あふれる公園。多様な樹木が植栽されている園内の散策路を歩きながら四季折々の自然を楽しみ、富山の里の風土を感じることが出来ます。特に、春に咲き誇る桜は大変見物で、中には珍しいエドヒガンの群生も残されています。

- 電話／076-443-2111
- 問合せ／富山市役所建設部公園緑地課



呉羽丘陵フットパスへのアクセス



呉羽丘陵フットパス

Kureha hills FootPath



フットパス (FootPath)

イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い町並みや遺跡など地域の自然や歴史文化に親しみながら、歩くこと【Foot】を楽しむための歩行者専用の散歩道【Path】

お問合せ先
富山市建設部公園緑地課 076-443-2111

街に
ポツカリ、
自然の
たから箱。

呉羽丘陵フットパス 散策MAP

白鳥城址

城山の最高峰(145.3m)に築かれた中世の山城で、今も空堀や井戸跡が残っている。軍事上の要塞として戦記に多く名が出てくるが、なかでも天正13年(1585)豊臣秀吉がここに陣を構え、富山城の佐々成政を攻めたことがよく知られている。白鳥城は天文元年(1532)神保長職が上杉との戦いのために築城し、慶長4年(1599)頃まで存続していたと伝えられている。



しらとり広場

城山の頂上付近、白鳥城址へ向かう入口に位置する広場で、広場内には展望台が設置されている。そこから一望できる立山連峰は、呉羽山にある展望台から望む姿とはまた違った一面を覗かせ、呉羽丘陵を代表する視点場の一つである。



朝日の滝

法尻諏訪の山々から湧き出るこの滝は霊験があり、不治の病も治すといわれ人々に親しまれてきた。江戸時代には、滝に打たれに全国から大勢の参拝者が訪れ、参道には茶店や旅籠が立ち並び大変賑わったといわれている。境内には、お堂があり阿弥陀如来、薬師如来、不動明王、寶頭盧尊者の四尊が祀られている。また、この滝は「とやまの名水」として選定されている。



七面堂

七面堂は、江戸時代に初代富山藩主前田利次公から土地を拝領した富山藩土奥村蔵人が甲州身延山の七面大明神と同形の木像を祀るお堂として明神山(今の稲荷神社付近)に創建された。現在の七面堂は、明治維新の神仏分離による破却などを経て移転・再建されたものである。



城山



呉羽丘陵フットパス連絡橋
 呉羽山公園と城山公園を結ぶ富山市の新たなランドマークとして整備されました。「立山あおく特等席」に追加指定され、橋からは立山連峰や二上山など、壮大な景色を楽しむことができます。現在、周辺広場整備中のため、期間を限定して一般開放しております。
 ※詳しくは富山市公園緑地課 HP をご覧ください。



0m 100m 200m 300m 400m 500m

- トイレ
- 展望鏡
- 駐車場
- 休憩所
- バスのりば
- 食事処
- 「アヴィレ」自転車市民利用システム
- ビューポイント

フットパスでの注意点とマナー

- 自分の体は自分自身が一番よく知っています。無理せず適度なペースで歩き、こまめな休憩・水分補給を心がけ、フットパスを存分に満喫しましょう。
- すれ違いの際は、お互い笑顔で挨拶し気持ちよく歩きましょう。
- フットパスの相手は自然。天候の急変をはじめ蚊や蜂、野生動物との遭遇などといった事態に備えて、十分な情報収集や対策と余裕のある計画を心がけましょう。
- 貴重な自然資源を永く継承していくためにも、草木・樹木・野生植物を守りましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。

呉羽丘陵 フットパスについて

呉羽丘陵は、南部に広がる射水丘陵から北東の方向に細長く突き出て、富山を東西に二分する丘陵性山地です。その西は呉西、東は呉東と呼ばれ、富山の歴史・文化、人々の営みの境となってきました。この丘陵を貫く尾根に沿って設けられた自然歩道、それが「呉羽丘陵フットパス」です。フットパス内には、里山の自然の豊かさを感じることのできる雑木林や動植物、富山が歩んできた歴史を刻む数々の遺構や古墳群などの歴史遺産、垣間見える雄大な立山連峰の眺望など富山の魅力がたっぷり詰まっています。まさに「街にポッカーリ、自然のたから箱」。存分に呉羽丘陵フットパスを満喫下さい。

フットパスコース名	コース延長	難易度の目安
尾根散策コース	城山 約4,990m 呉羽山 約1,770m	☆☆☆☆
歴史探訪周遊コース	約3,580m	☆☆☆☆
自然観察周遊コース-1	約3,170m	☆☆☆☆
自然観察周遊コース-2	約1,040m	☆☆☆☆

富山市民俗民芸村の各施設

<p>民芸館 ☎076-431-6466</p> <p>伝統的な手仕事から生まれ、暮らしの中ではなくまれた生活工芸である「民衆的工芸」(略して「民芸」)の品々を展示している。</p>	<p>民芸合掌館 ☎076-431-8156</p> <p>江戸時代に作られた車轆等など工芸的な美しさを誇った大型家具類を中心に展示している。</p>	<p>売薬資料館 ☎076-433-2866</p> <p>300年の歴史を持つ富山売薬に関する資料を展示している。資料の一部は国重要有形民俗文化財に指定されている。</p>	<p>考古資料館 ☎076-433-8634</p> <p>市内の遺跡から発掘された先土器時代(旧石器時代)から江戸時代までの出土品を展示している。</p>	<p>茶室円山庵 ☎076-432-4782</p> <p>立礼席でお抹茶とお菓子を楽しめるほか、お茶会などにも利用されている。</p>
<p>民俗資料館 ☎076-433-4109</p> <p>富山市とその近隣地域から集められた生活用具や生産用具、祭礼用具などを展示している。</p>	<p>陶芸館 ☎076-433-8610</p> <p>中世から現代に至る全国各地の素朴な美しさを持つ陶磁器を展示している。</p>	<p>民芸合掌館 ☎076-433-8634</p> <p>市内の遺跡から発掘された先土器時代(旧石器時代)から江戸時代までの出土品を展示している。</p>	<p>茶室円山庵 ☎076-432-4782</p> <p>立礼席でお抹茶とお菓子を楽しめるほか、お茶会などにも利用されている。</p>	<p>とやま土人形工房 ☎076-431-4464</p> <p>富山の伝統的郷土玩具を守り伝えるための制作工房をはじめ、展示、販売、絵付けなどの体験コーナーがある。</p>

呉羽山

五百羅漢

五百羅漢建立の始まりは、寛政11年(1798)富山城下の回船問屋黒牧屋善次郎が2人の商人と16体の羅漢像を安置したことによる。その後、多くの人々からの寄進が続き、約60年後の安政5年(1858)には羅漢像は全部で535体となった。明治初年の廃仏毀釈では壊されなかったものの、地中に埋もれた像などがあり、昭和2年から3年にかけて破損していた像は修復され、全体の羅漢像が改めて山腹の斜面に祀られ今の姿となっている。現在は、富山市指定文化財として選定されている。



呉羽山公園展望台

雄大な立山連峰の大パノラマを一望できる呉羽丘陵を代表する視点場。「立山あおく特等席」として指定され、特に晴れた日や立山が朝焼け・夕焼けに染まる日には多くのカメラマンが押し寄せる。展望台内には、立山を開山したとされる佐伯有頼の少年像が白鷹を掲げて今も立山を見入っている。



富山市民俗民芸村

昭和40年に飛騨市の板蔵が移築され民芸館として開館したのを始めに、郷土の自然景観と調和した多くの建造物が並ぶ文化集落施設。歴史、民俗、民芸、美術に関する新たな文化環境を創造することを目的に、展示、普及、研究、収集活動が行われている。

■時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
 ■定休/12月28日~1月4日
 ■問合せ/富山市民俗民芸村 管理センター
 ■電話/076-433-8270

